

(2022) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(御 室) 児 童 館 ・ 学 童 保 育 所

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	<p>安全・衛生の確保</p> <p>健康の管理・情緒の安定</p> <p>基本的生活習慣の確立</p> <p>社会生活技術の獲得</p>	<p>手洗い、手指消毒等の励行指導 避難訓練 帰宅指導</p> <p>来館時の検温 保護者との連絡手段の確保（連絡アプリ）</p> <p>朝の会・終わりの会 児童館探検</p> <p>当番活動（おやつ準備、片づけ、掃除） 学年や班ごとの会議 伝統工芸、食育等の体験活動</p>	<p>コロナ禍で定着しており、コロナ以外の感染症を含め流行しにくい要素となっている。地震、火災等様々な想定での避難訓練を実施。時間の都合もあり、館外に出る所までとなっている（広域避難はできていない）帰宅時に同行し、具体的な安全指導を行うことができる。実施回数が限られた。</p> <p>急な発熱を発見できる等の効果が見られた。来館時の健康チェックとして分かりやすいが、人手がかかる連絡アプリ使用から数年の経過で保護者も施設側も常時連絡ができる安心感が持っている。個別相談の入口にもなっている。</p> <p>予定や注意事項を伝える場所としている。見通しや振り返りの場となるよう声かけをしている。新入会児童が部屋や遊具の使い方、備品貸出しルール等を知る場として実施。</p> <p>班活動の位置づけでおやつ準備、おやつ後の片づけ、週1回の掃除等を行う。登録人数が増え、当番の回る回数が減少している。遊びの内容や行事の計画など、学年ごとに課題をもって話し合い、決定する体験の場として実施。本物に出会う体験叔母として実施。職人の技を見たり、本物の味を知る等の機会としている。</p>
子ども育成機能	<p>生活体験の拡大</p> <p>社会性の養成</p> <p>自立の促進と自主性の尊重</p>	<p>高学年おやつ会議 災害用非常食体験 伝統工芸、食育等の体験活動 凧作り、昔遊び、集団遊び 誕生日会 学年会議 学年行事（取組） 終わりの会の司会 入会式、終了式</p> <p>班、学年ごとの会議 学年行事（取組）</p>	<p>生協でおやつメニューを考えて注文品を決める。諸費の額を伝えて予算配分も任せる。非常用の備蓄米を食べてみる機会。弁当が必要な日に実施して、家庭の弁当負担軽減にもつなげた。プロから工芸の説明と技を見せていただき、自身が体験する機会。食育は昆布、すり身等本物の味の体験の機会とした。昔からある遊びや集団でのゲームあそび等、自由遊び時間ではとっつきにくい遊びの体験の機会として実施。誕生日を祝う機会。同じ班の人へのメッセージ作成する会議を持ち、仲間意識作りにつなげる意図も持った。学年行事に向けて相談を行った。3年はみその使い方や合宿、終了行事等を自分たちで組み立ててもらい機会としている。全体での行事推敲が難しくなる中、学年ごとの取組を充実させた。こども会議で内容を決める機会もしている。3年生のリーダー役意識を持つための取組。短時間ながら、全体をまとめることを意識する機会もなっている。節目行事。保護者同伴で行うことが難しいため、子どものみで定員オーバーとなる人数は交代しながら実施する等工夫している。</p> <p>自分の意見を出すこと。他の意見を聞く事。様々な理由や条件を勘案して意見をまとめる事。の経験となっている自分たちの意見が形になることを体験できることを目標としている（成功も失敗も含めての体験と位置付けている）。</p>
子育て支援機能	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p> <p>子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p>	<p>学童クラブ説明会 子育て関連情報の広報物配付 連絡アプリによる情報交換 保護者懇談 新入会面接</p> <p>連凧作り 保護者懇談会 親子交流会</p> <p>御室ふれあい食堂との連携 保護者会活動の支援 お弁当の日 保護者相談</p>	<p>学童クラブの利用条件、費用、重要事項等を説明する機会としている。行政や地域広報、児童館からのお知らせとして。子育て中の家庭向けの情報を発信。個別連絡や全体への通知等、内容に合わせて相互に連絡が取れるようにしている。コロナ禍で個別懇談中心に実施。子どもの様子の情報交換の他、相談の機会となっている。新入会家庭は個別面談で子どもの性格や家庭の様子、配慮が必要な事項等を確認。ネット申請開始による新しい試み。</p> <p>凧あげ会に向け、保護者共同で一つの連凧作りに取り組む。作業補助や制作時のアドバイス等で参加。3年生で学年の全体懇談を実施（コロナ禍以後初めて）。保護者の顔つなぎの場の役割を再認識した。1年保護者の交流と子どもの様子を見てもらえる場として実施。遊びと染物体験を地域の施設を利用した。</p> <p>地域のボランティア団体主催。備品貸し出し、当日の運営補助等で参加。食堂に合わせ、夏まつり、焼き芋等も実施した。運営への支援。会議のオブザーバー参加や行事準備への助言等を行う。児童館主催とは違う保護者のつながり作りにつながっている保護者の負担軽減のため実施。子どもの昼食づくりがコロナ禍で変更されたもの連絡アプリや電話、懇談時等に聞くことが多い。子どもの事、学校、家庭、仕事等、愚痴レベルも含め日常の聞き取りは多い。</p>